

吉浦廣さんが旭日単光章を受章

旧根上町議会議員として地域の発展に尽力

吉浦廣さん（吉原釜屋町）は、旧根上町議会議員を5期20年の永きにわたり務められ、その間、地域の発展に尽力し、町議会議長も務められました。この功績を称え、高齢者叙勲として旭日単光章を受章されました。9月20日、田中策次郎

議長から旭日単光章に係る勲記・勲章の伝達を受けました。

受章に際し「たくさんの方に支えられて議員活動が続けることができた。特に妻のおかげで頑張ることができましたので感謝しています」と述べられました。



左から田中議長、吉浦さん、妻の智恵子さん

小松基地北部民防協会から寄附 能美根上駅の利便性向上に



小松基地北部民防協会の皆さんと井出市長

航空自衛隊小松基地北部の民家防音対策工事の事業者でつくる「小松基地北部民防協会」から、協会設立40周年と能美根上駅開業110周年を記念し、駅の利便性向上のため200万円のご寄附をいただきました。



能美根上駅

10月3日、同協会の中村伸一会長ほか2名が市役所を訪れ、井出市長から感謝状が手渡されました。寄附金は能美根上駅の利便性向上に資する事業に活用します。

防災フェスタ2022を開催 市民力！地域力！能美の全力で防災！

9月25日、市防災センター周辺で防災フェスタを3年ぶりに開催しました。会場では消防車やパトカーなどの車両展示や乗車体験のほか、放水体験などのブースも設けられました。

また建設コラボとして市商工会建設部会による工作やゲーム、さまざまな展示などがあり、子どもから大人まで楽しく防災を学べるフェスタとなりました。



県内唯一の水陸両用バギーを体験



アトラクション終了後に笑顔で記念写真

寺井高校で救急対応訓練を実施 胸骨圧迫の方法やAEDの操作を学ぶ

市消防本部は9月15日と16日、寺井高校の総合学科スポーツ課の生徒と教諭を対象に、救急対応訓練を行いました。



手分けして救命処置を行う寺井高校の生徒たち

1日目は寺井消防署の救急救命士が、胸骨圧迫の重要性とAEDの操作方法を指導しました。

2日目はグラウンドでソフトボールの練習を行っていた生徒の胸にボールが当たって倒れたという想定で訓練を行いました。生徒たちと教諭が連携して119番通報から胸骨

圧迫、AEDの操作、救急車の誘導までを本番さながらに緊張感を持って行いました。訓練後、寺井消防署

長は「スポーツなどで胸に衝撃を受けた際に起こる心臓振盪への理解を深め、迅速に対応することがいかに大切かを学んでもらうことができました」と講評しました。

東大生が能美根上駅の利用促進策を探る まちづくり・SDGsの視点でアイデア出し

9月22日から24日にかけて、東京大学生4名が市内に滞在し、能美根上駅の利用促進策を探りました。22日は寺井高校生7名と意見を交わし、若者目線でのアイデアを出し合いました。また駅近くの公共施設を拠点に活動しているタレント演劇学校とも交流し、SDGs視点の取り組み

についても学びました。23日と24日には市内観光施設を訪れていた観光客に交通手段などについてのインタビュー調査などを行いました。

3日間を通して学生たちは市民や観光客の声を聞き、インターネットなどの情報だけでは気付けなかった生の情報を肌で感じました。

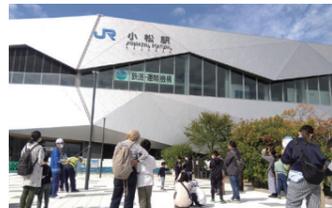


寺井高校生と活発な意見が交わされました

新幹線小松駅見学会を開催 開業を心待ちに

令和6年春の敦賀延伸・県内全線開業を目指し、北陸新幹線の整備が進められています。10月15日には能美市・小松市の親子15組を対象にした北陸新幹線小松駅見学会が開催され

ました。参加した親子は整備された新幹線駅舎の外観や改札口、待合室、新幹線ホームなどの見学や新幹線クイズを楽しみ、ホームから見える景色を堪能しました。



開業を心待ちにしながら見学会を楽しんだ参加者たち

九谷陶芸村まつり（秋の茶碗まつり）を開催 掘り出し物を求め多くの来場者で賑わう

10月15日と16日、九谷場やステージイベントを楽しむ観客で九谷まつり（秋の茶碗まつり）が3年ぶりに開催されました。



陶芸村が賑わいました。



来場者で賑わう九谷陶芸村

和気あいあいの里バーベキュー場をリニューアル 隣接地に「アドベンチャーガーデン能美」もオープン

和気あいあいの里バーベキュー場の管理棟などの補修、進入路の拡幅、駐車場整備などを行い、より快適な環境でバーベキューを楽しめる施設になりました。なおキャンプ場の営業は令和4年9月末で終了しました。

園やヘラブナ釣りができる和気池、虚空蔵山の散策路などがあり、里山の自然が楽しめるエリアとなっています。

バーベキュー場

アドベンチャーガーデン能美



住所 和気町ラ90番地 営業時間 9時～17時

予約はこちら



辰口中学校で能美グローバル教育の授業

9月30日と10月14日、辰口中学校1年生を対象に、能美グローバル・コミュニケーション・プログラムの授業を行いました。

9月30日は北陸先端科学技術大学院大学の元山琴菜講師による講義で、グローバルの問題や自分らしさについて学びました。

10月14日には、さらに興味を深めたい18名の生徒が北陸先端大の留学生と英語を使って交流し、社会の問題やどんな未来に生きたいか、そのために今自分ができることは何かを話しながら、考えの違いを理解しました。授業後には「外国



留学生と交流する辰口中学校の生徒たち

最高齢 これまでの歩みに敬意を表して

小村さん、嶋村さん おめでとうございませう

市内最高齢となる男性と女性に祝品が贈られました。男性の最高齢は104歳の小村正利さん（寺井町）、女性の最高齢は106歳の嶋村きみ子さん（火釜町）です。



小村さん



嶋村さん

お二人は施設に入所中のため、9月20日に井出市長がそれぞれのご家族の自宅を訪れ、

市内最高齢となることへのお祝いの言葉を述べ、お祝い状と記念品、花束を贈呈しました。

祝百寿 おめでとうございませう

9月16日、藏田リコンさん（寺井町）がめでたく100歳を迎えられ、お祝い状と記念品が贈呈されました。

藏田さんは庭の手入れや散歩が好きで、平日頃から自宅周辺を自分の足で歩き、体を動かしているそうです。

また「食べ物好き嫌いなく何でも食べていたことが長寿と元気につながっている」と話していました。



100歳を迎えられた藏田さん（左）と井出市長

9月26日、山森富枝さん（寺井町）がめでたく100歳を迎えられ、ご本人は施設に居中のためご家族にお祝い状と記念品が贈呈されました。

山森さんの趣味は畑仕事で、自宅の畑で野菜や果物を作っていたそうです。特に好きな食べ物はリンゴで、リンゴや自身で作った野菜を食べることが長寿と元気につながっているとご家族から教えていただきました。



100歳を迎えられた山森さん